

◎ 今月のトピック

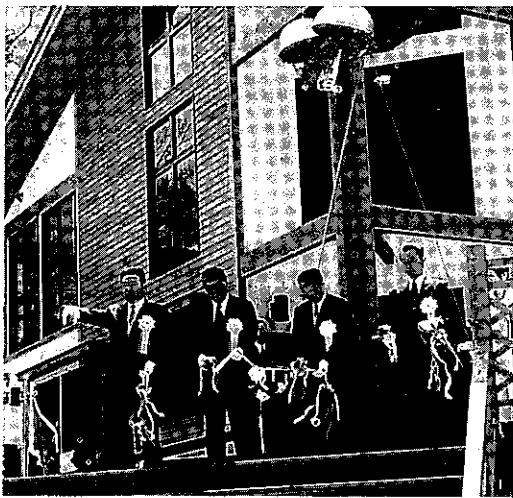
◆ ミニ尾瀬公園オープン

都市とのコミュニティーの場の創設と地域経済の活性化を図るため、平成8年度から山村振興等農林特別対策事業により整備を進めてきた檜枝岐村の「ミニ尾瀬公園」がオープンしました。

5月13日に同公園内の「武田久吉メモリアルホール」前で式典が行われ、佐藤知事をはじめ数十人の関係者が出席しました。

星檜枝岐村長の挨拶に続き、佐藤知事が「訪れる人々に自然のすばらしさを伝え、気軽に尾瀬を実感できる施設です」と祝辞を述べました。

続いて、佐藤知事らがテープカットし、くす玉割りを行って、オープンを祝いました。



テープカットする佐藤知事

< ミニ尾瀬公園施設の案内 >

総面積約80,000㎡という広大な「ミニ尾瀬公園」は、尾瀬に咲くさまざまな花々などを鑑賞できるウォーキングパークです。

一周約2km、徒歩約40分の散歩コースには、高層湿原の花々、散策用の木道、川、滝、池塘などが整備、再現されています。また、園内からは東北一の高さを誇る燧ヶ岳の雄姿も眺られ、尾瀬の雰囲気味わうことができます。

・ 高層湿原エリア

管理棟から下流の約15,000㎡には、ミズバショウ、リュウキンカ、ザゼンソウ、ニッコウキスゲなどの湿原植物が植栽されています。

また、「遙かな尾瀬・・・」の歌詞で知られる「夏思いで」の詩碑もこのエリアに造られました。

・ 高山草原エリア

管理棟周辺及び上流の約3,000㎡には、シラネアオイ、チングルマ、コマクサ、サンカヨウなどの山野草が植栽されています。

・ フィッシングエリア

ミニ尾瀬公園内を流れる「山の神川」には、イワナが放流されていますので、家族連れで釣りを楽しむことができます。

・ 武田久吉メモリアルホール

管理棟の二階には、尾瀬の自然を生涯愛しつづけた、武田久吉博士の「尾瀬行」の登山記録や愛用のじゃばら式カメラなど、遺品の数々が展示されています。また、大正時代からの博士の尾瀬に傾けた情熱と功績をパネルで紹介しています。



ミニ尾瀬公園から眺めた燧ヶ岳

◆ 緑の少年団結団式

5月1日、田島町大字長野の田島第二小学校体育館で、同校緑の少年団の団結式が行われた。

田島第2小学校では、今年度の5年生全員（25名）が、緑の少年団活動に参加することになっている。団長には渡部弘紀君が選ばれ、「この一年間緑の羽根募金活動、学校の樹木の手入れ等の活動に一生懸命に取り組みたい」と誓いの言葉を宣言しました。

なお、当管内には只見町明和小学校にも緑の少年団があり、今年度は団員30名で活動を開始しています。

◆第40回農業賞の受賞決定

～只見町そば部会～

5月24日に第40回福島県農業賞の農村女性活動部門において、只見町そば部会（会長 酒井ティ 会員数28名）の受賞が決定しました。

只見町そば部会では、各種イベントや友好都市との交流等に積極的に参画したり、グリーン・ツーリズムでそば打ち体験メニューのインストラクターを務めるなど「技術の提供」と「町のPR」に活躍してきました。

また、「会津地鶏そば」や、ふき、ふきのとう、山菜などを具にした「そばやきもち」など新しいメニューの開発も積極的に行ない、地元の特産品作りにも協力したことなどが評価されて、今回の受賞となりました。

表彰式は、6月24日に杉妻会館において開催され、受賞者を始めとして関係機関職員が出席する予定です。

◆植樹祭が開催されました

5月28日、南会津地方植樹祭が、下郷町音金地区の町有林で開催され、同町南小の生徒や、田島第二小と只見町明和小の緑の少年団を含む230名の参加者が、ヤマザクラ、シラカバ、スギ、ヒノキの苗木620本を植えて、緑づくりを実践しました。

式典のなかで下郷町の佐藤義孝さんほか6名の方が緑化功労者として表彰を受けました。

また、主催者から下郷町南小学校ほか同町内の小・中学校と「緑の小年団」をもつ田島町、只見町の二校に記念樹が贈られました。

この植樹祭は、南会津地方緑化推進委員会と下郷町の共催で実施されましたが、経費の一部には「緑の羽根」募金の還元金が充当されています。



◆只見町布沢地区のブナの原生林を調査

去る、5月17日、只見町、会津森林管理署南会津支署、南会津農林事務所の関係者で、只見町布沢地区大滝沢源流に広がる約1000 haのブナの原生林を現地調査しました。

まさに五月晴れの好天に恵まれ、ブナの新緑がまばゆいほどで、谷筋には残雪がみられ、イワウチワ、ミヤマカタバミ等の可憐な花が咲き始めていました。

また、ゼンマイ、ウルイ、コシアブラ、タラノメなどの山菜も多く、これらの山菜は地元の人々の食卓を賑わすだけでなく、家計の足しに重要な役割を果たすなど、このブナ林は、人々の暮らしと深く関わりがあるのだらうと思います。

途中、カモシカのものと思われる“ため糞”が何カ所か見られ、数多くの野鳥のさえずりも賑やかであったことから、動植物の豊かな自然状態が残されているように思えました。

また、谷川筋、林内でのブナの眺めは見事であり、ブナの懐に抱かれた安堵感を覚え、ブナ林に育まれた縄文人の血が今でも体内に流れていることを感じられるようでありました。

直径1m以上もある巨木が所々にみられ、地元の誇れる貴重な財産であることは間違いが無いであろうと思われます。



◆県営ほ場整備事業（担い手育成・区画整理型）塩の原地区採択される。

5月10日、県営ほ場整備事業（担い手育成・区画整備型）塩の原地区（舘岩村）が、受益面積4.7ha、総事業費約6億6千万円で採択されました。

県営ほ場整備事業は、区画形状、道水路網などの整備を実施することにより、大型ほ場による経

営の合理化と土地の集約化を促進することが可能となります。今後、本事業の実施により耕地の集積率を高め、担い手農家の育成、地域農業の継続と振興が期待されます。

◆南会津地方のグリーン・ツーリズム情報を全国に・・・

南会津地方グリーン・ツーリズム推進協議会では、5月18日よりインターネットのホームページに南会津地方のグリーン・ツーリズムに関する情報を載せ、全国に紹介しています。インターネ

ットによって情報を発信することにより、グリーン・ツーリズムに関心を持っている方に、花やイベントなど南会津地方のリアルタイムな情報を流し、効率的なPRを行おうというものです。

ホームページは、「<http://www.akina.ne.jp/s-aizu>」でご覧になれますので、ぜひ一度アクセスしてみてください。

また、グリーン・ツーリズムに関する地域の情報も募集していますので、皆さんからの提供をお願いいたします。

◆◆参加者募集◆◆

「遊休農地を活用したアスパラの生産振興」現地検討会を開催

南会津地方遊休農地活用推進会議とJA会津みなみの共催で、平成11年度に設置する遊休農地モデルほ場の現地（田島町田部）において一般の農家も含め、南会津地方の特産品であるアスパラガスの生産振興と遊休農地の活用について現地検討会を6月29日に開催します。

当日は、アスパラガスの生産振興についての現状や問題点とその対策について各講師から発表してもらい予定であり、アスパラガスの生産振興を図るための総合検討会と位置付け、南会津地方におけるアスパラガスの生産振興や遊休農地の活用と発生防止に役立てることとしています。

皆さんの参加をお待ちしています。（問い合わせ：南会津農林事務所地域農林企画室まで）

★地域紹介コーナー・・・南郷村・・・

「ほ場整備推進の思い出」

・・・21世紀に向けた農地の基盤づくり・・・

本村において、担い手育成基盤整備事業に本格的に取り組み始めたのは平成8年度であった。

当時、事業実施にあたり95パーセント以上の同意があれば可能という事で、さっそく農村整備部からきていただき毎晩のように説明会を行い、事業実施の同意をお願いしましたが、2～3人の同意が得られず、それから昼夜を問わず個別訪問（勤務先までも）をしました。訪問する場合は事前に連絡せず、突然伺ってお願いをしたこと、（事前連絡の場合居留守が心配）

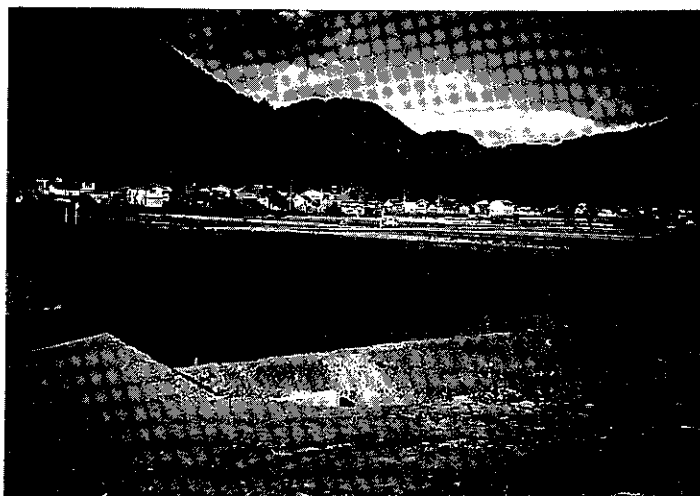
また、ある時は部落の区長さんに同席を願い何度となく事業同意をお願いした結果100パーセントの同意を得ることができました。（そのときの酒がうまかったことが今でも脳裏に残っています）

また、別の地区では村が福祉施設建設用地を、ほ場整備に併せ購入するよう指示があり、さっそく部落説明会を開いて何とか同意をいただいたものの、ほとんどの農家が代替地を希望しており、1.2ヘクタールの代替地を求めて、約2ヶ月間交渉を行った結果、ようやく代替地が確保できた矢先、ほとんどの農家が一変、売ると言うこととな

農林課長 辺見 賢

り、今までの2ヶ月間の努力は何だったんだと怒りと落胆の入り交じった複雑な気持ちでありました。

今春、一部でありますが大規模な水田に小さな苗が植え付けられたのを見つけ秋の収穫を想像するとき当時の苦労も21世紀に向けた農地の基盤づくりに寸分でも貢献できた事への喜びに変わろうとしております。



整備後（片貝地区） 1枚3,000㎡

「オトメユリとともに生きる」

南郷村山口 月田 礼次郎さん

福島、山形、新潟県と宮城県南部のみに自生するオトメユリ。気品あふれるピンクの花と香り、暑さに弱いために、高山の尾根や東南斜面に自生するこの花は、ヒメサユリの名で知られ、世界に誇るユリの原種です。営利栽培しているのは、福島市の西部地域と南郷村だけで、1戸の栽培面積は月田さんが群を抜いており、日本一いや世界一の栽培面積ということもできます。

月田さんが本格的に栽培を始めたのは、お父さんが自生していた球根を植え付けていたのを引き継ぎ、学校卒業後、試行錯誤を繰り返しながら、栽培管理技術を確立してきました。現在は、6月からの切り花出荷と、秋の球根出荷を経営の柱にリンドウ等の切り花栽培も導入した花の専業農家です。

オトメユリは連作障害が出易いことから黒岩山手前の山地を開墾し栽培しており、山畑には間伐材を利用した2階建ての山小屋を作り、様々な人々の交流に役立っています。また、暇を見つけてはほ場周辺の山林の下刈りや道を整備し、水田を池に掘りさげ、ジュンサイを植えたり、今は珍しくなったメダカを増やしたりするなど、また森や池の上にターザンロープを張るなど、ゆとりや遊び心をたくさん持ち合わせております。夏には、東京の学習塾の小学生から高校生までを対象にした夏休みの林間学校10数年も支援したり、林業普及指導協力員として森林教室での講師を務めるなど、花き生産組合の役員だけでなく、地域に根ざした幅広い活動も行っております。

平成2年、大阪で開催された花の博覧会には福島県のコーナーに抑制栽培をして、9月に開花させ出展しました。当時はオトメユリの抑制栽培の試験事例はなく、他の栽培事例を参考に栽培したことから、思うように行かず、苦労も多くあったようです。また、平成7年の福島国体の際にも先の経験を活かし、オトメユリの抑制栽培を行い、9月の国体のメイン会場貴賓席前に飾り、秋篠の宮殿下夫妻の目を楽しませました。

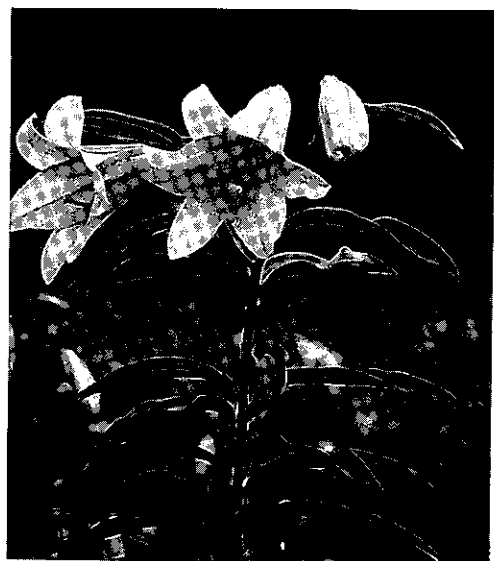
この冬には根曲がりの間伐の杉を利用し、長さが5~6メートルもあるホルンを5本も作り、お子さんと演奏を練習し、将来は高清水公園のヒメサユリ祭りに演奏でもしてみようかと夢を膨らましています。

月田さんは営利追求のみを考える農業経営でなく、「山村地域の特性を生かし、自然の中でゆったりと豊かに暮らしていきたい。子供たちに夢を育める場を用意し、また夢を伝えてゆきたい」と語っておりました。

6月にはいるとオトメユリの出荷が始まり、秋の球根出荷まで忙しい日々が続きますが、35年の汗と努力の結晶のオトメユリに囲まれ、充実した日々を送られることでしょう。オトメユリとともに生きてきた月田さんの花が、今年もまたみごとに咲かんとしています。



月田礼次郎さん 月田農園にて



オトメユリ (ヒメサユリ)

特集！学校農園について

只見町朝日小学校で学校農園が始まりました。

この学校農園は、次代を担う若い農業者を確保・育成するために、小学校時代から農業や自分たちの住む農村について理解を深めてもらうために実施しており、今年で2年度目になります。

今年は、特に児童の栽培希望作物を取入れ、トウモロコシ、ポップコーン、枝豆、小豆、モロヘイヤ、ダイコン、ジャガイモ、サツマイモ、ニンジン、キュウリ、トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、パプリカ、ズッキーニ、スイカ、プリンズメロン、カボチャ等と19品目以上の作付けとなりました。栽培法もナス、ピーマンでは、産地の整枝法を取入れ先進的な農業技術も理解してほしいと考えています。

児童たちは、堆肥散布による土作りから始まり、5月19日にはジャガイモを植付けました。使い慣れない鍬をもち、手を土で黒くしながらも目を輝かせながら植付けを終えたところです。6月2日には、ほとんどの植付けが完了しようやく農園らしくなりました。これからは、物を育てる難しさ、そして新鮮な農作物を食べる喜び、収穫の喜

びを感じて、まずは、心豊かな人間に育ってほしいと願いながら実施して行きたいと思っています。



じゃがいもの植付け作業

～研修会・講習会のお知らせ～

農業短期大学校・会津農業センター研修

内 容	日 時	場 所
①農産加工 「食品法令とジャム加工の衛生管理」	6/17	農業短期大学校内
②農業機械 内容：果樹生産における最新機械を利用した省力化技術 近年開発された機械を活用した省力的な栽培管理を学ぶ	6/23	農業短期大学校内
③鉢花・花壇苗生産の新技术と苗流通時の品質保持技術	7/1	農業短期大学校内
④トラクタけん引（第1回） トラクタけん引作業機の基本操作と安全運転技術を修得 対象：大型特殊自動車免許（農耕用）所有の農業者 及び農業関係機関職員	7/5～ 7/9	農業短期大学校内
⑤ハーブ加工「ハーブについての講義と実習」	7/7	農業短期大学校内
⑥水稻直播栽培の栄養生育診断・害虫診断	7/8	農業短期大学校内
⑦コンバインによる収穫・乾燥（1）	7/14	会津農業センター
⑧コンバインによる収穫・乾燥（2）	7/15	会津農業センター

※お申込み・お問合せ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

躰 (しつけ)

‘泰平の幾時代がありましてりんごもむけぬギャルらはびこる’

朝日「折々のうた」昭62作

県立農業短大勤務の折、学生間で「おはよう、ありがとう、すみません」の言葉がほとんど無く、先生に対しても然りで、父母に苦言を呈したことがある。「学校で教えることで無く、家庭でのしつけの問題なり」と。

少子化の時代、子供に家の手伝いをさせることも、台所に立つこともさせない今日、標記のギャルとなる。

「人間の性格と、五葉松のよれっ葉は一生直らない」、「子供を見れば親が、犬を見れば飼い主が分かる」という。

「幼時期のしつけで一生がきまる」とも。

中・高生になってから、農業を頼むでは遅い遅い。ゆめゆめ、後継者がいないなどとは言わせませんぞ。

・・・歌人を慄然とさせたギャルたち、今ほどのような奥さんになっていることだろうか・・・と記事にあった。

所長 横田

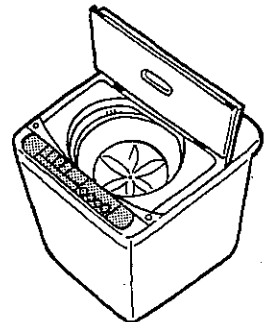
生活の知恵

靴下の汚れが洗濯機で洗っても真っ白にならない場合は？

靴下はつま先やかかどについた汚れは落ちにくいものです。

そこで、靴下の中にビー玉を入れて、そのまま洗濯機で洗います。すると、洗濯機の中で布越しにビー玉がゴロゴロ擦れ合ってきてきれいになります。ビー玉は片足5～6個入れるのが目安で、口を閉めないで洗っても、不思議なことに遠心力でビー玉は出てきません。

スポーツや農作業などで汚れた靴下が増える時期、部分洗い無しできれいになるこの方法を試してみても・・・。



3ヶ月予報 仙台区気象台発表の「東北地方3ヶ月予報」

- 6月 日本海側は平年と同様に天気は周期的に変化しますが、ぐずつく時期があるでしょう
太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう
- 7月 日本海側は平年と同様に天気は周期的に変化しますが、ぐずつく時期があるでしょう
太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう
- 8月 平年に比べ晴れの日が多いですが、曇りや雨の日もあるでしょう

お問い合わせ

あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

郵便・FAXどちらでも結構です。

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349

この広報誌は再生紙を使用しております